

2 乗合交通整備を進めるために想定する枠組み

2 - 1 乗合交通整備に対する行政の基本スタンス(総合交通プランより)

総合交通プランの取組課題・計画目標・施策方針

【取組課題】

渋滞の緩和・交通事故の減少、高齢社会への対応、環境負荷の低減

【計画目標】

人を優先にすること・車の利用を減らすこと(車の時と場合による使い分け)

【施策方針】

歩くことが安全・快適で、バスや自転車が利用しやすいまちを目指す



市が目指す乗合交通のあり方

バス及びタクシーは、市が目指す交通体系の中で優先的に考慮すべき公共交通機関として位置付ける。

既存のバスやタクシーの機能やサービスを充実することを基本に、その機能やサービスあるいは徒歩や自転車の機能を補完するコミュニティバスや乗合タクシーなどを含めて、より機能的な乗合交通網を整備する。

今後は、乗合交通網の整備、維持、運営に対して、行政が積極的に関与する。